

発刊にあたって

景気は緩やかな回復基調をたどり、コロナ禍の影響はほぼ解消してデフレ脱却も実現しつつあります。県内経済は一部に一服感がみられますが、緩やかに回復しています。

連合が5月8日に公表した「2024春季生活闘争第5回回答集計結果」によれば、2024年のベースアップと定期昇給を合わせた平均賃上げ率は5.17%と1991年の5.66%以来33年ぶりの高さとなりました。県内でも当研究所によるアンケート調査で、「賃上げを実施する(定期昇給、ベースアップ、手当変更・新設の少なくとも1つ以上)」比率は79.1%と相応の比率となっています。早期に実質賃金がプラス転換し、個人消費が活性化していくことを期待しています。

さて「徳島県の経済と産業(2024年版)」は、地域の自然環境や社会環境、経済・産業の構造や特色、県民の暮らしなども含めて、最新のデータを織り込み、近年の徳島県の実情と変化を取りまとめたものです。一部項目の統合・名称変更を行い、よりわかりやすいものになるよう努めました。徳島県の現状や特徴・特色を概観し、今後の地域や企業経営を展望する参考書として、活用していただければ幸いです。

今回の表紙は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、様々なイベントで活気が戻ってきた様子を、架空の「グルメフェスタ2024」として地元産品のキッチンカーを中心に表現しました。

最後に、この冊子の作成にあたり協力を賜りました関係機関の皆様に、心から厚くお礼申し上げます。

2024年 夏

公益財団法人 徳島経済研究所
理事長 長岡 奨